

三田藩家老を代々勤めた九鬼家が明治初期に建てた住宅

〔兵庫県指定重要有形文化財〕

旧九鬼家住宅

〔企画展示〕 『旧九鬼家住宅のかたちを楽しもう』

ー 和と洋が美しく調和した意匠（かたち）について写真を中心に紹介 ー

令和8（2026）年 8月1日（土）～10月31日（土）



北側外観



二階洋間



ベランダ



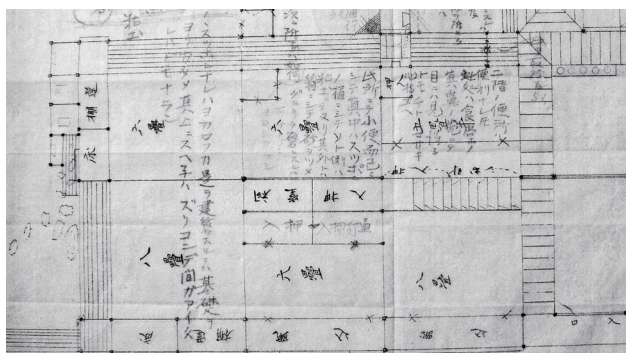
屋根瓦

（展示会場）三田ふるさと学習館学習室

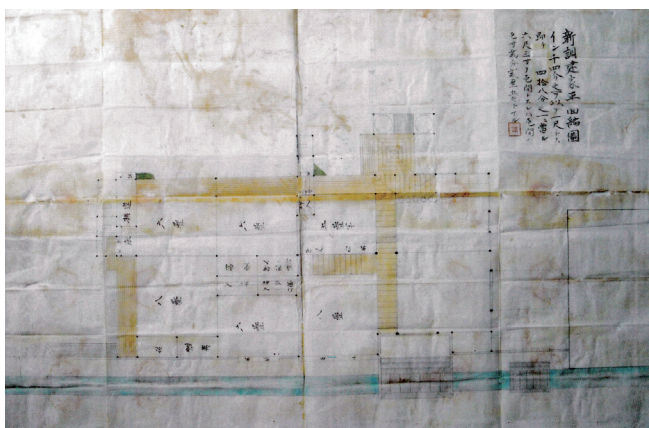
〔企画展示〕 『旧九鬼家住宅の間取りをひもとく』

ー 三田藩家老九鬼家文書の史料から間取りの成り立ちを読み解く ー

令和8（2026）年 7月18日（土）～10月4日（日）



〈九鬼隆範が書き込んだと思われるメモが残る間取り図〉



〈彩色が施された間取り図〉

（展示会場）旧九鬼家住宅資料館

（主 催）三田市

（開館日／開館時間）開館カレンダーを参照

（企 画）NPO 法人歴史文化財ネットワークさんだ

（入館料）無料

（チラシ裏面）

く き たかのり

砲術、蘭学、測量学を学び、明治3年に民部省（のちに工部省）鉄道寮に出仕し、新橋－横浜間や京都－神戸間などの鉄道敷設工事の測量業務等に従事する。現場で実地を学んだ鉄道技師として明治初期の鉄道の発展を支えた。



旧九鬼家住宅（兵庫県指定重要有形文化財）

洋風（洋館）と和風（商家、武家住宅、民家）の意匠を合わせ持つ建物で、後に「擬洋風（ぎようふう）建築」と呼ばれる。鉄道技師として横浜や神戸の居留地の洋館を数多く見たであろう九鬼隆範の西洋文化や技術へのあこがれがこの住宅を生み出したと考えられる。

旧九鬼家住宅は、明治初期に現れた擬洋風建築の貴重な住宅遺構として平成 10（1998）年に兵庫県重要有形文化財に指定された。

『三田藩家老九鬼家文書』（三田市指定有形文化財）

当文書に関する調査報告書として、『三田藩家老文書詳細目録(第一集)』、『旧九鬼家住宅解体修理(災害復旧)工事報告書』及び『九鬼家所蔵近代鉄道関係資料調査報告書』が刊行されている。

 : 三田ふるさと学習館と旧九鬼家住宅資料館の同時開館日
 : 三田ふるさと学習館のみの開館日

2026 年 8 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	三田ふるさと学				

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

旧九鬼家住宅資料館（開館時間 10:00～16:00）

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○ 旧九鬼家住宅の
二階特別公開日



〔問合せ先〕 三田ふるさと学習館

(電話) 079-563-5587

* JR 三田駅・神戸電鉄三田駅 から徒歩約 10 分

* 駐車台数 : 11 台+身障者用 2 台 (無料)